

2016年度 メーデー回答

メーデーの回答書が届きました。一部を紹介します。

2. 教職員の健康・労働条件と児童・生徒の健康・安全について

(2) 出勤記録を点検し、時間外勤務の場合は割振り簿にきちんと記録し、割り振りが適正に行われるようにしてください。出張や土・日の部活動指導を在校時間に入れていない等の誤った記載をなくしてください。あわせて「ノー残業デー」が徹底するようにしてください。

【回答】勤務の割り振り変更がある場合は適切に行われていると把握しています。また、出張や土・日の部活動指導は在校時間に含まれています。「ノー残業デー」も各校において実施するよう働きかけ、今後も、教職員が健康・安全に勤務できるように努めています。

(4) 「在校時間状況記録」より把握できる超45時間・超80時間・超100時間の時間外労働をしている教職員数及び氏名を、教育委員会会の責任において毎月把握してください。また、該当者が医師の面接指導を確実に受けられるように指導してください。

【回答】在校時間状況記録は健康障害の要因の一つを把握するものとして実施しています。在校時間が8時間を超える者については面接

指導を受ける意思を確認しています。

(5) 安全衛生委員会について以下のことを実施してください。

- ・校内安全衛生委員会及び総括安全衛生委員会において、作業環境管理のみでなく「在校時間状況記録」により把握できる長時間労働を解消するため、作業管理として具体的な方策を論議し計画を策定するように指導すること。
- ・全職員の意見が反映できるように校内衛生委員会を少なくとも学期に1回以上行うようにすること。
- ・総括安全衛生委員会の論議事項を法に則り速やかに(C4thを使って)全職員に周知すること。

【回答】総括安全委員会においても、勤務実態を踏まえて具体的な議論をしています。総括安全委員会の議事結果については学校長あての送付により各校に周知を行っています。また、特に必要とされる案件についてはC4thの連掲示板等による周知を行います。

(16) 職場の働く環境(気候・照明・採光・換気・・・)を基準に合わせるとともに、授業に集中できる教室環境にしてください。普通教室へのエアコン設置は、急務です。

【回答】教室等は計画的に検査を行っています。普通教室へのエアコン設置についてはそれに向けた計画づくりを引き続き検討していきます。

(18) 「新VDT作業ガイドライン」にそってコンピュータ作業の対策を行ってください。
【回答】引き続き実施に努めます。

3. 教職員の働く環境と福利厚生について

(1) 男女別の休養室・シャワー室をすべての学校で設置できるように、計画を進めてください。現在の設置状況と今後の計画を明らかにしてください。

【回答】現状の建物での福利厚生施設の設置は、建物の構造・スペース上に支障が生じるため、大規模改修工事に併せて実施を考えています。
現在の男女別の休養室・シャワー室設置状況は・・・
男女別の休養室・・・12校、シャワー設置・・・13校です。

4. 憲法・教育基本法・子どもの権利条約に基づいた子どもの人権の推進、開かれた学校づくり、子どもを取り巻く環境の改善について

(1) 「全国学力学習状況調査」に参加しないでください。学校別の点数公開を行わないでください。

【回答】今後も実施していきます。学校別の点数は公開していません。

(5) 部活動でのあまりにも早い登校時刻、あまりにも遅い下校時刻を改善するように

に学校を指導してください。また児童・生徒や教職員にとって心身ともに負担となっている過熱傾向にある部活動のあり方を見直す作業を進めてください。

【回答】今後の部活動のあり方については、様々な角度から検討していきます。

(6) 小中一貫校・学校統廃合については、児童生徒や父母住民にとって最善であり理解を得ることとし、拙速な作業は進めないでください。
【回答】多方面からの意見を聞きながら進めていきます。

※ メーデーの回答をもとに、2016年度市教委要求項目をまとめて提出します。

瀬戸の議会 教育は...

瀬戸市は6月定例瀬戸市議会の本会議並びに各委員会を傍聴しました。文科省からの方針が着々と下され、多くの教職員や市民が知らないところで決められようとしています。

6月20日 総務委員会

学校支援のため、原山小に学生サポーター募集。

6月22日 厚生文教委員会

小中一貫校・保育園の待機児童対策・チーム学校の3点を中心課題に。鴨川市の小中一貫校の視察を決定。

学校支援で多忙化?

「学校支援」のもとに、スクールソーシャルワーカーなどの人員を配置し、教師が職務に専念できる環境づくりをしています。現状の多忙化解消に手を付けず、会議等が増え、かえって忙しさを助長させないでしょうか。

小中一貫校は子ども・まちづくりの視点でしっかり議論を!

「中一ギャップ」「切磋琢磨」を根拠とした「つくられた住民要求」をしてこに学校の統廃合・小中一貫校構想が進められています。

「市が練りに練って、最適と考えている計画。地元住民との合意形成に向けて、最大限努力していく」と深見教育長は説明会で述べています。小中一貫校ありきで市民・住民の合意を取り付けるのが狙いのようです。市側の手続きは、16年度に有識者・学校関係者等で構成する委員会、地元住民のワークショップを立ち上げ、アンケートを実施し報告書にまとめるとしています。

学校をこどもの立場を第一に、地域コミュニティの存続や発展の中心的な施設として位置づけること。地域を挙げてその充実を図ることを希望する場として住民・市民と行政が開かれた場で対等に協議を進める必要があります。

突然の「小中一貫校」
瀬戸市は、本山中学校区と祖東中学校区を統合する「義務教育学校」(小中一貫校・モデル校)を東公園付近に設置する計画を発表しました。

山・小川
道泉小・深
小・古瀬母・懷
東・明瀬戸本
中・祖東中
の5小学校と
2中学校の地
域だけの問
題
ではありませ
ん。

突然の「小中一貫校」
瀬戸市は、本山中学校区と祖東中学校区を統合する「義務教育学校」(小中一貫校・モデル校)を東公園付近に設置する計画を発表しました。

山・小川
道泉小・深
小・古瀬母・懷
東・明瀬戸本
中・祖東中
の5小学校と
2中学校の地
域だけの問
題
ではありませ
ん。



**適正規模・適正配置・
小中一貫校**まずありき

市教委は、モデル地区の選定に関して次の3点を挙げています。

① 1000人規模
小 3 学級×6 ≡ 18 学級
中 3 学級×3 ≡ 9 学級
② 学校施設の寿命
RC造の耐用年数は50年
10年以内に8割(23/28)
校)寿命を迎える。
③ 建設場所
都市公園を新しい教育環
境を創造する空間として
活用。

うすの「中中す。進をま
 今に。抛新瀬は・水無か。めモま
 回の進具点戸・品野瀬・わデズ
 の進体的い市・中・中・わて
 のめるの目・中・中・わて
 の市にの域・中・中・わて
 ので玉と既？・中・中・わ
 のし何ミ？・中・中・わ
 のしをコ・中・中・わ
 のうどニ小・中・中・わ
 のか上テイすを・中・中・わ
 のか上テイすを・中・中・わ
 のか上テイすを・中・中・わ

会では、教育的意義の欠落・押し付け的であると住民からの声があります。

中学校の専科教員問題

いる。専科補員の不足は、市が欠員補充をすべし、このことを理由に小中一貫校を取り入れるのは本末転倒です。今年度、本山中に教員の配置を一部行ったことは行政として当然のことです。

学校・まちづくり

魅力ある街づくりから再構築を
地域の崩壊？から一体とな
つた学校の論議が必要で
小規模の学校の良さ・瀬戸
の教育の良さが十分住民に伝
わっていないように思われま
す。

市は、学校の
統廃合とまちづ
くりをセットに
考えていると説
明しています。
小中一貫校だけ
優先して行うべ
きではありません。



7校統合のほかにも道が

全市的合意形成が必要

以前、掛川小廃校問題とは異なり、今後の瀬戸市のビジョンをつくりあげる重要な機会です。公平公正公開を原則に市民が直接参加できる場を設定すべきです。

住民・市民参加の学校・
地域・自治体に！

子どもたちが、適正な規模の
集団の中で切磋琢磨しながら
学ぶことで、

- これからの社会に一層必要
となる「自ら考え、学び、生
き抜く力」を育みます。
- 多様な学習活動や学校行事
を展開することで、豊かな人
間性を育みます。
- 部活動の充実、学習以外の
活動への自主的な参加を実現
します。

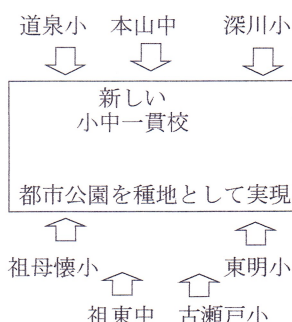
教育委員会資料より

小中一貫教育による、魅力ある学校をつくることで、

- 9年間を見通した一貫した教育課程・教育指導により、子どもたちの学力・体力・情操を伸ばします。
- 異学年交流や相互乗り入れ授業等を取り入れ、子どもたちの自己有用感や規範意識などの社会性を養います。
- 小中相互の教員が日常的に交流することで、新たな課題への対応力や指導力の向上を図ります。

教育委員会資料より

教育委員会資料より



聞くこと
第一主義の
徹底を！

金第學校
主義切捨
でで

聞いたこと、第一主義が、教育委員会の積極的提案に変わってしまいました。

ります。講堂の大きさ、体育館の大きさも一緒であります。これが、いかに財政効果が大きいか」と。

これは、財政削減を目的にした学校統廃合の本当の狙いを端的に表しています。

小中一貫の教育的意義？？？

小中一貫の教育的意義？？？

瀬教はバ
教以下
にの疑
教育問
をを
投
げ
か
け
ま
す。

◆「小中一貫校」というまだ評価の定まっていない制度を、拙速に実施しようとしていること。

◆小中一貫教育カリキュラムあるのか？教育委員会の示すメリットの根拠があるのか。

◆デメリットや問題点の検討が不十分である。

◆多大な負担がかかる教職員に、対しての意見聴取が行われず、一部の意見だけを取り入れていくこと。

歴史に学び・将来を展望する

単なる学校存続だけでなく、地域のまちづくりの観点から、専門家、教育関係者、自治会、諸団体、個人、行政が地域の歴史に学び、現在を知り、将来を展望することが重要です。

住民の住民による住民のためのまちを行政任せでなく、地域からつくるのが求められています。

市民参加、市民の総意でまちづくりを！